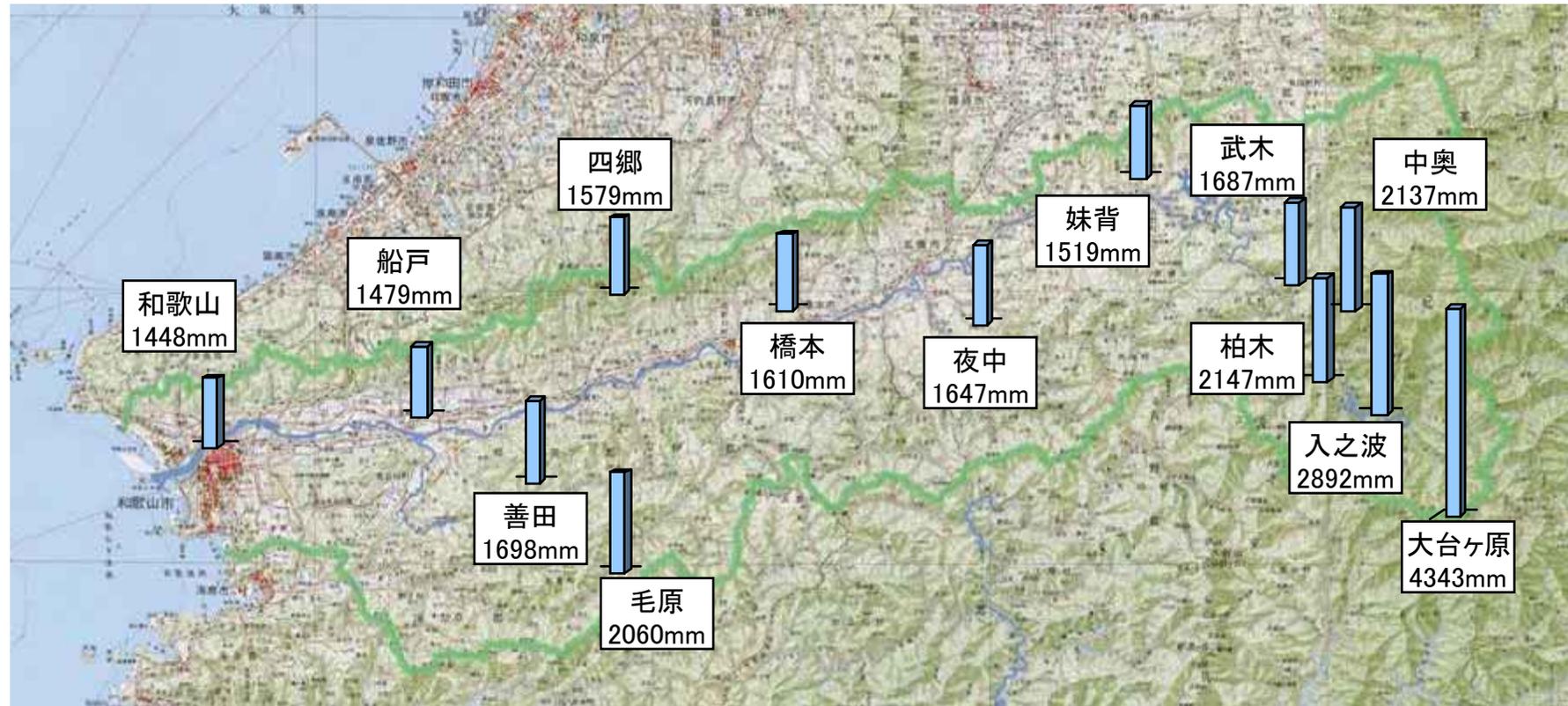


# 降雨特性

流域の気候は、中・下流部は瀬戸内気候区に属し、年平均気温が和歌山市で16°C、かつらぎ町で15°C程度と温暖であるが、高野山や上流部の吉野地方の山地部では年平均気温が10°C前後と寒さも厳しい。

流域の降水量は上流水源地帯に多く、下流に行くに従って少なくなっており、平均年間降水量は中・下流部で約1,630mm、上流部で約2,640mm、流域平均で約2,020mmとなっている。降雪は上流山岳地帯に多く、下流では少ない。



紀の川流域の年降水量(平成1~5年の平均値)

# 等雨量線図(2日雨量)

<昭和28年7月 前線>

中下流部で大きな雨量をもたらした台風で、中流部の高野山で452mmを記録。



# 等雨量線図(2日雨量)

<昭和34年9月 伊勢湾台風>

極めて上流多雨型の降雨であり、八幡平付近で1,200mmを超える雨量を記録。

上流に比べて中下流部での雨量は少なく、中流部の高野山で200mm程度、下流部の岩出では50mm程度でした。



# 等雨量線図(2日雨量)

＜昭和47年9月 台風20号＞

上流の日出岳で230mm程度、中流の高野で250mm程度、下流の岩出で120mm程度でした。

